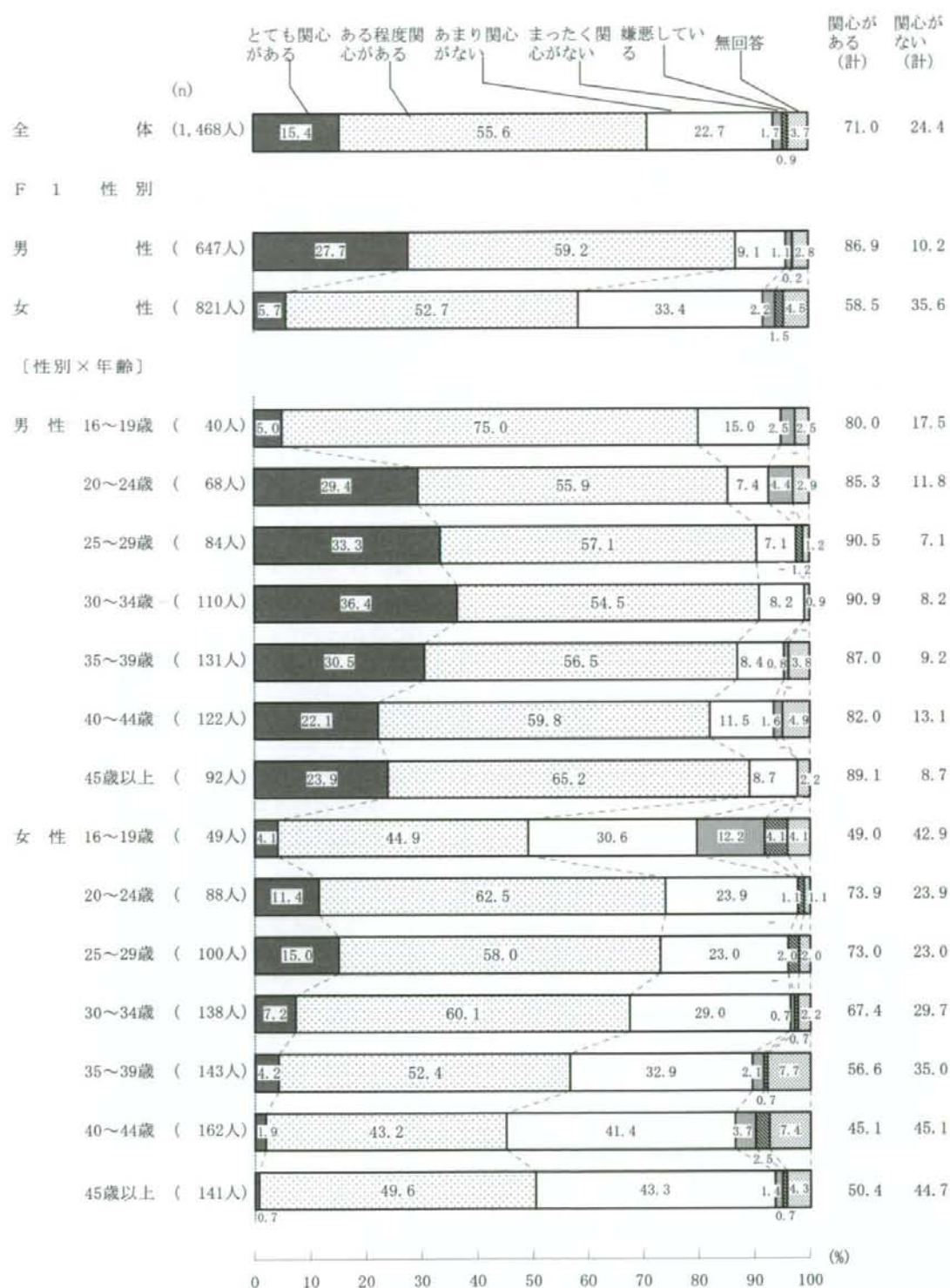
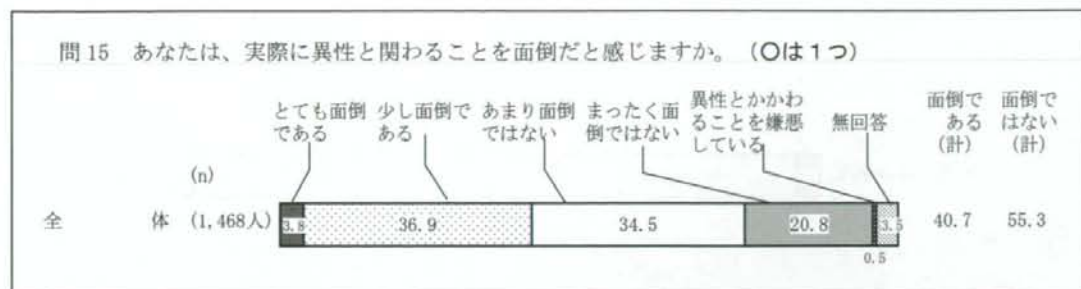


図3-3-1 セックス（性交渉）することへの関心の有無（性別、性・年齢別）



4 異性と関わることの意識

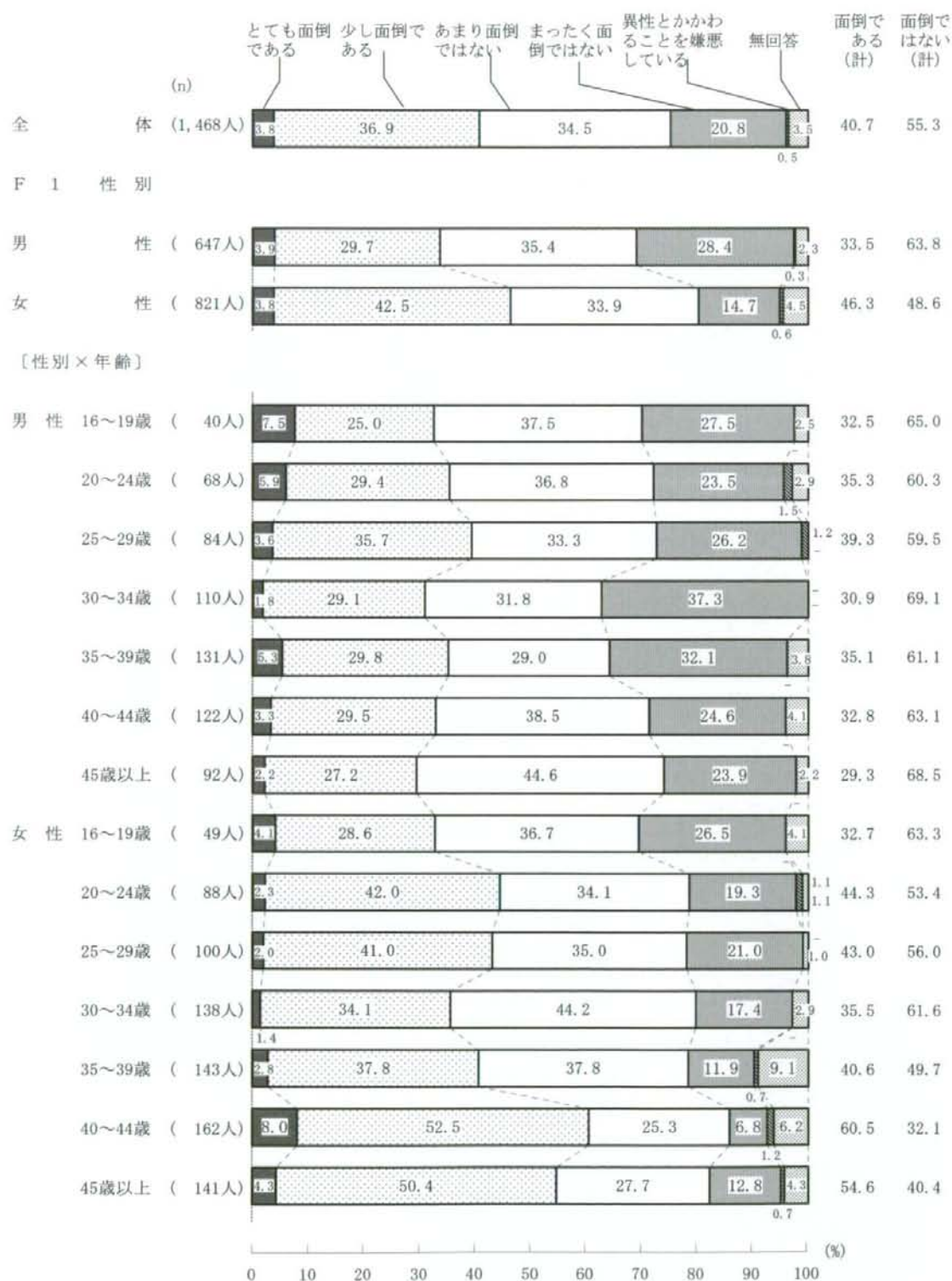


実際に異性と関わることへの意識を聞いたところ、「とても面倒である」という者は 3.8%にとどまるものの、「少し面倒である」(36.9%)という者を合わせると異性と関わるのが『面倒である』(40.7%)という者は4割を占めている。一方、「あまり面倒ではない」(34.5%)と「まったく面倒ではない」(20.8%)を合わせた『面倒ではない』(55.3%)と感じている者が5割半ばを占める。「異性とかかわることを嫌悪している」という者は

性別にみると(図3-4-1)、女性では半数近くの者が『面倒である』(46.3%)と感じているが、男性の『面倒である』(33.2%)者は3人に1人である。一方、「まったく面倒ではない」という者は男性(28.4%)では約3割を占めており、女性(14.7%)より約14ポイント多くなっている。

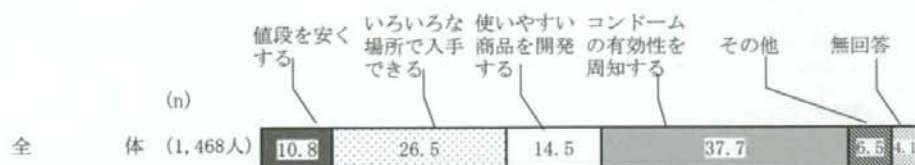
性・年齢別にみると(図3-4-1)、『面倒である』という者は女性の40歳以上で他の性・年齢層に比べて多くなっており、女性の40~44歳(60.5%)では6割が、45歳以上(54.6%)でも半数以上が『面倒である』と感じている。

図3-4-1 異性と関わることの意識 (性別、性・年齢別)



5 コンドーム利用促進策

問 16 性感染症予防のためにもコンドームは重要ですが、どうすればコンドームの利用が増えると思いますか。(〇は1つ)

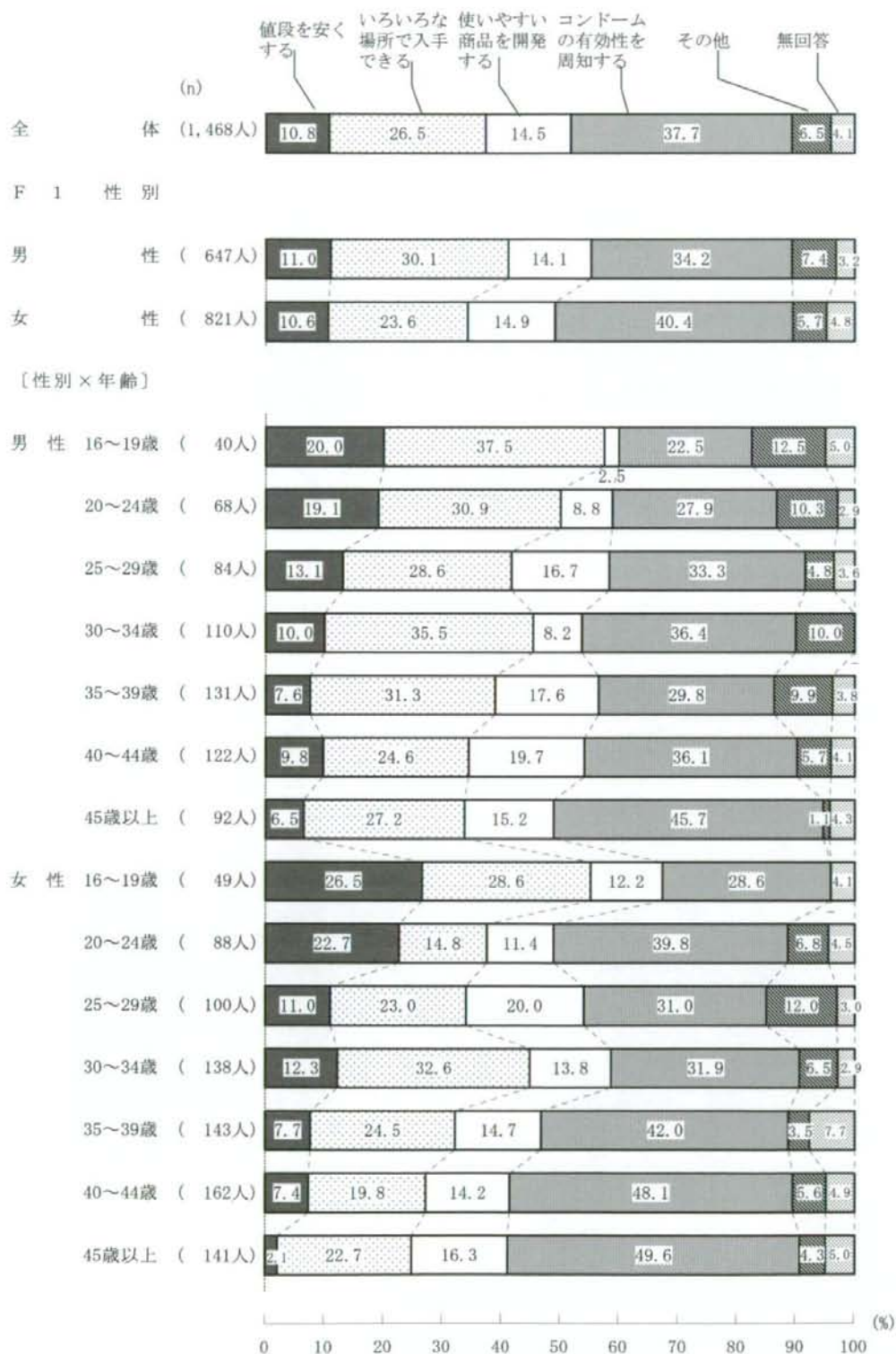


コンドームの利用を増やすために何が有効な手段であると思うかを聞いたところ、「コンドームの有効性を周知する」という者が 37.7%、「いろいろな場所で入手できる」という者が 26.5%となっている。「使いやすい商品を開発する」(14.5%)と「値段を安くする」(10.8%)は1割強である。

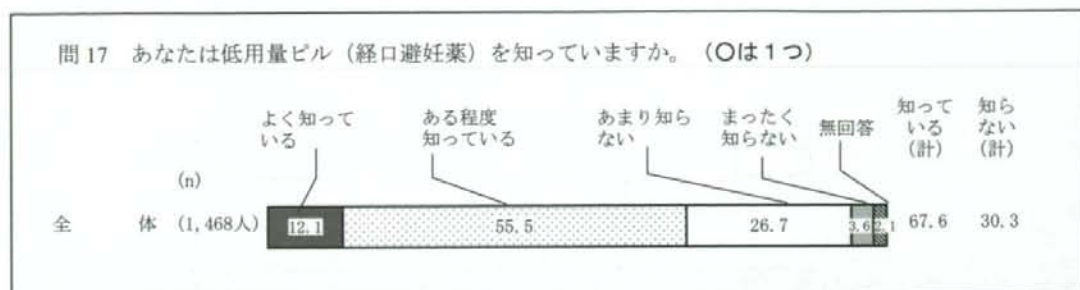
性別にみると(図3-5-1)、「コンドームの有効性を周知する」は男性(34.2%)より女性(40.4%)に多い。一方、「いろいろな場所で入手できる」は女性(23.6%)より男性(30.1%)に多い。

性・年齢別にみると(図3-5-1)、「コンドームの有効性を周知する」と答えた者は女性の40歳代(40~44歳 48.1%、45歳以上 49.6%)の年齢層で多く、約半数を占めている。「いろいろな場所で入手できる」という者は、男性の30~34歳(35.5%)で多くなっている。一方、「値段を安くする」という者は若年齢ほど多い傾向がみられ、該当数は少ないが男女とも24歳以下の年齢層では2割前後を占めている。

図3-5-1 コンドーム利用促進策（性別、性・年齢別）



6 低用量ピル（経口避妊薬）の周知



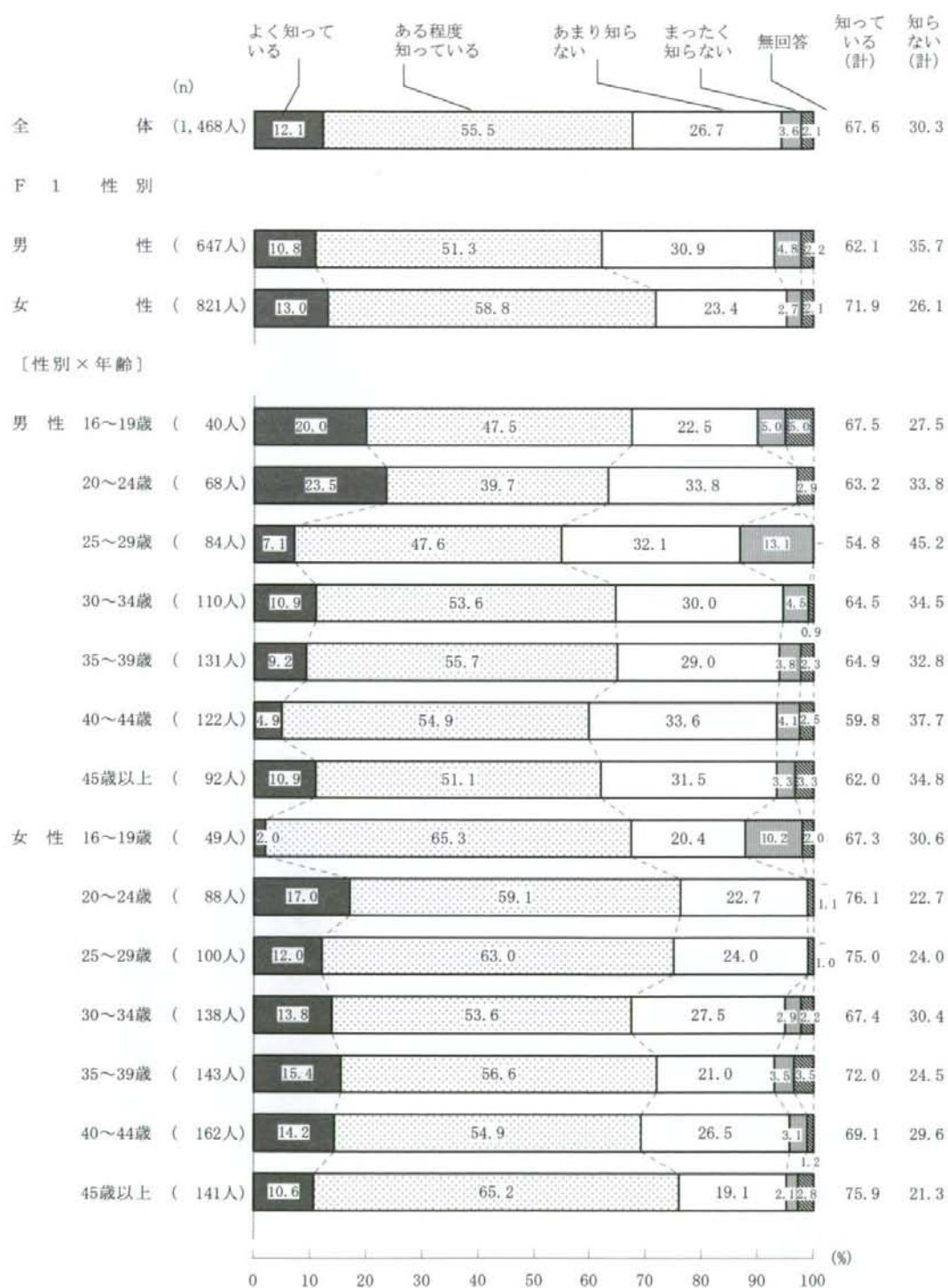
低用量ピル（経口避妊薬）のことを「よく知っている」（12.1%）という者は1割強で、「ある程度知っている」（55.5%）という者を合わせると、3人に2人は『知っている』（67.6%）と答えている。

性別にみると（図3-6-1）、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』者は男性（62.1%）より女性（71.8%）に多く、女性の7割が低容量ピルのことを『知っている』と答えている。

性・年齢別にみると（図3-6-1）、低用量ピルのことを「よく知っている」と答えた者は該当数は少ないが男性の20～24歳（23.5%）で統計的にみて多くなっている。『知っている』者でみると、女性の45歳以上（75.9%）の4人に3人が『知っている』と答えており、他の性・年齢層より多くなっている。

一方、男性の25～29歳（13.1%）と女性の16～19歳（10.2%）の年齢層では、該当数は少ないが、1割強が「まったく知らない」と答えている。

図3-6-1 低用量ピル（経口避妊薬）の周知（性別、性・年齢別）



7 「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」の周知

問 18 あなたは、「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」のいずれかの言葉を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

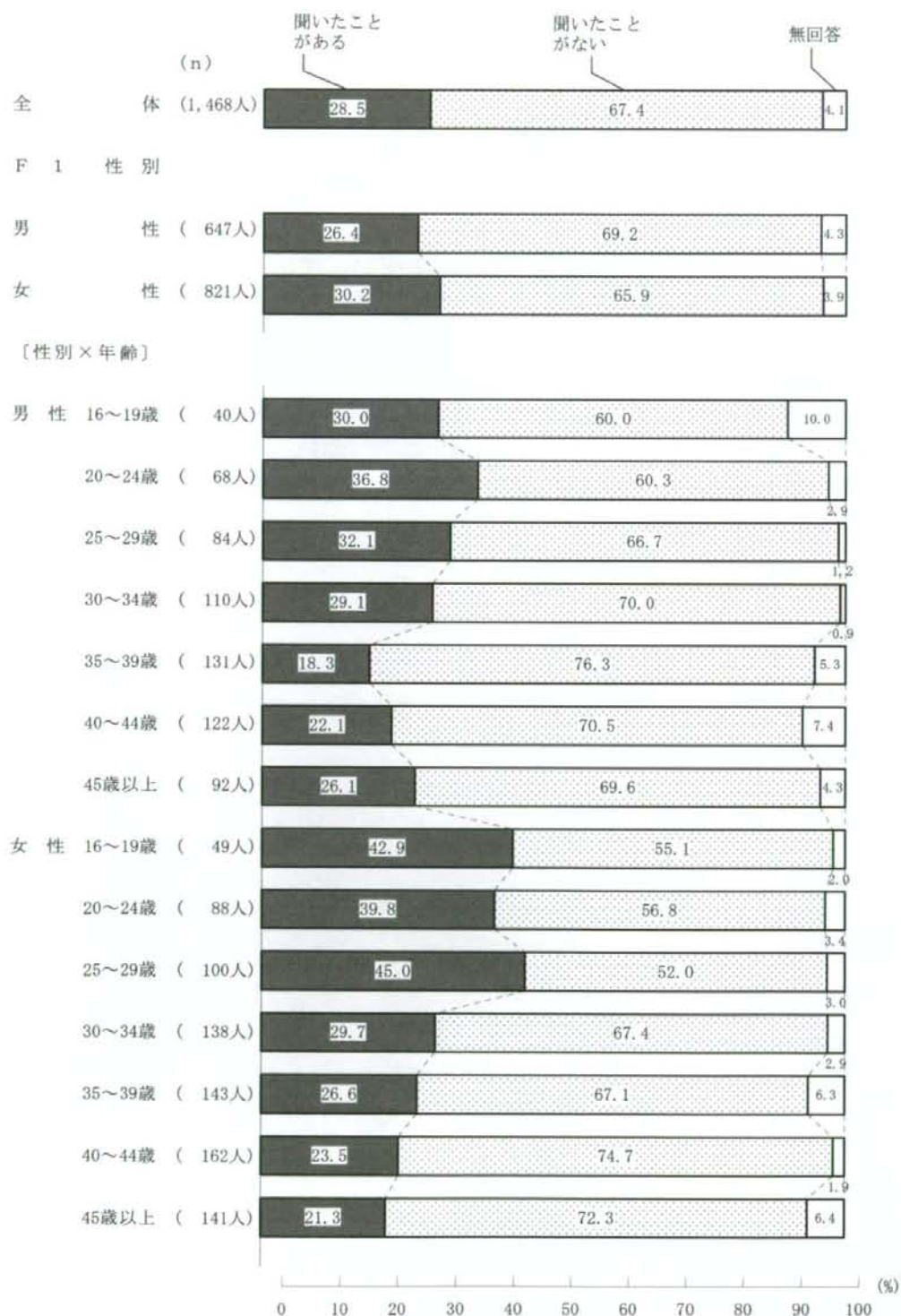


“緊急避妊法” “モーニングアフターピル” “性交後避妊” のいずれかの言葉を「聞いたことがある」(28.5%) 者は約3割、「聞いたことがない」(67.4%) 者は7割弱である。

性別にみると(図3-7-1)、統計上の大きな差はみられない。

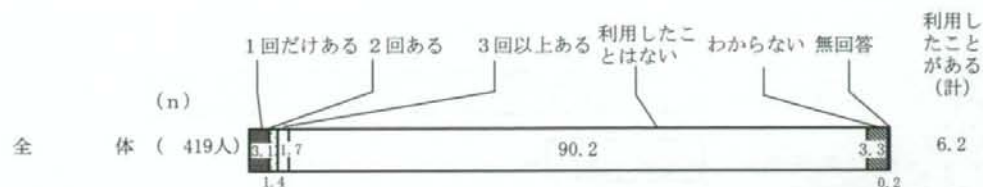
性・年齢別にみると(図3-7-1)、「聞いたことがある」という者は女性の29歳以下の年齢層で、他の性・年齢層より多くなっている。一方、「聞いたことがない」という者は男性の35~39歳(76.3%)と女性の40~44歳(74.7%)では4人に3人おり、他の性・年齢層より多くなっている。

図3-7-1 「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」の周知
(性別、性・年齢別)



【問18で「1」と答えた方にお聞きします。】

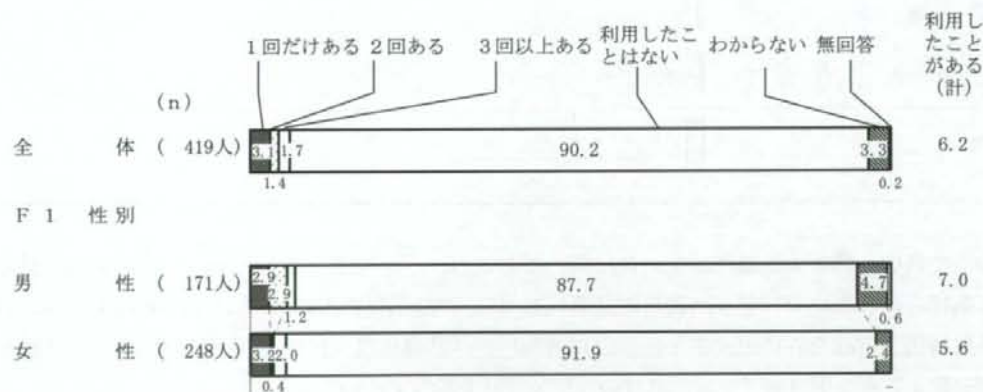
問19 上記のいずれかの言葉に該当する方法を利用したことがありますか。いくつかの方法を利用したことがある方は、合計の回数をお答えください。(〇は1つ)



“緊急避妊法” “モーニングアフターピル” “性交後避妊”のいずれかの言葉を聞いたことがあるという者(419人)に、いずれかに該当する方法を利用したことがあるかどうかを聞いたところ、「1回だけある」者が3.1%、「2回ある」者は1.4%、「3回以上ある」者は1.7%で、「利用したことはない」(90.2%)という者が9割を占めている。

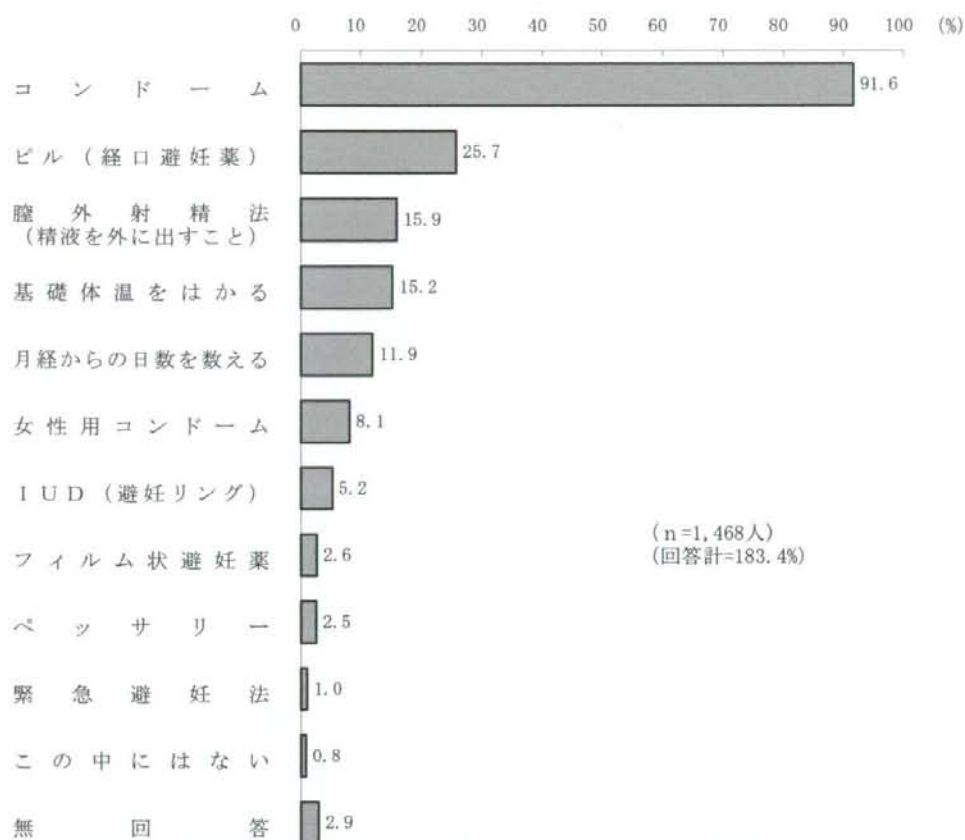
性別にみると(図3-7-2)、大きな差はみられないが、「利用したことはない」者は女性(91.9%)では9割を超えている。

図3-7-2 “緊急避妊法” “モーニングアフターピル” “性交後避妊”の利用経験



8 現時点で適切と判断する避妊法

問 20 次の避妊法のうち、あなたが現時点で適切と判断するのはどれですか。(〇はいくつでも)



現時点で適切と判断する避妊法を全員に聞いたところ、「コンドーム」(91.6%)が9割と際立って多くあげられ、次いで「ピル(経口避妊薬)」(25.7%)が4人に1人に挙げられている。以下「膣外射精法(精液を外に出すこと)」(15.9%)、「基礎体温をはかる」(15.2%)、「月経からの日数を数える女性用コンドーム」(11.9%)などが1割台で続いている。

性別にみると(表3-8-1)、男女とも「コンドーム」(男性92.1%、女性91.2%)が9割で最も多く、次いで「ピル(経口避妊薬)」(男性20.9%、女性29.6%)も男性の5人に1人、女性の約3割が適切な避妊法と判断している。また、女性では「基礎体温をはかる」(21.4%)も5人に1人の者が挙げている。

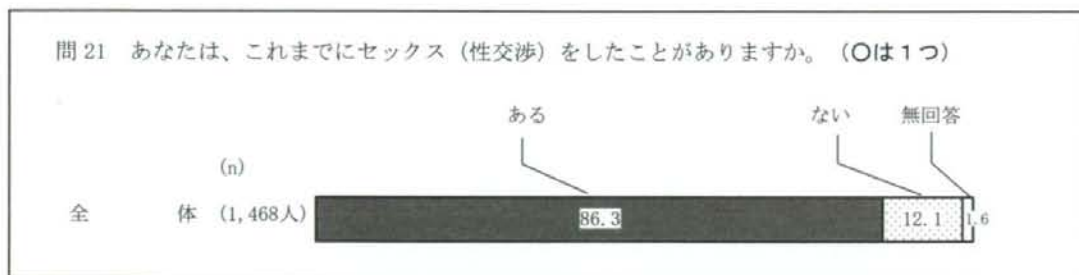
性・年齢別にみると(表3-8-1)、「ピル(経口避妊薬)」は、男女とも若年齢ほど多くなる傾向がみられる。特に女性の20歳代の年齢層では4割以上の者が「ピル(経口避妊薬)」を現時点で適切と判断する避妊法であると考えており、他の性・年齢層より多くなっている。「基礎体温をはかる」は女性の25歳以上の年齢層で2割以上が挙げている。また「女性用コンドーム」は、該当数は少ないが女性の20~24歳(25.0%)の4人に1人が、現時点での適切な避妊法と考えている。

表3-8-1 現時点で適切と判断する避妊法(性別、性・年齢別)

	(n)	コンドーム	ピル(経口避妊薬)	フィルム状避妊薬	月経からの日数を数える	基礎体温をはかる	膈外射精法(精液を外に出すこと)	女性用コンドーム
全体	1468	91.6	25.7	2.6	11.9	15.2	15.9	8.1
(性別)								
男性	647	92.1	20.9	3.9	10.4	7.3	17.8	7.9
女性	821	91.2	29.6	1.6	13.2	21.4	14.4	8.3
(性別×年齢)								
男性 16~19歳	40	77.5	37.5	-	10.0	7.5	7.5	12.5
20~24歳	68	95.6	25.0	5.9	16.2	7.4	17.6	19.1
25~29歳	84	92.9	27.4	4.8	7.1	3.6	20.2	6.0
30~34歳	110	97.3	20.9	3.6	15.5	10.9	19.1	8.2
35~39歳	131	92.4	17.6	3.8	6.9	7.6	19.1	7.6
40~44歳	122	87.7	15.6	4.9	10.7	9.8	16.4	4.9
45歳以上	92	94.6	16.3	2.2	7.6	2.2	18.5	3.3
女性 16~19歳	49	87.8	30.6	-	20.4	12.2	16.3	14.3
20~24歳	88	94.3	42.0	3.4	11.4	19.3	11.4	25.0
25~29歳	100	98.0	45.0	-	8.0	24.0	14.0	11.0
30~34歳	138	92.8	26.8	1.4	10.9	23.2	15.9	8.0
35~39歳	143	87.4	25.2	0.7	11.9	22.4	11.9	3.5
40~44歳	162	88.3	24.1	2.5	16.0	20.4	16.0	3.7
45歳以上	141	91.5	24.1	2.1	15.6	22.7	14.9	4.3
	(n)	ベッサリ	緊急避妊法	IUD/IUS(避妊リング)	この中にはない	無回答	回答計	
全体	1468	2.5	0.8	5.2	1.0	2.9	183.4	
(性別)								
男性	647	3.4	1.1	2.8	1.4	2.8	171.6	
女性	821	1.8	0.6	7.1	0.6	3.0	192.8	
(性別×年齢)								
男性 16~19歳	40	-	-	-	2.5	12.5	167.5	
20~24歳	68	7.4	1.5	7.4	-	2.9	205.9	
25~29歳	84	2.4	-	2.4	3.6	1.2	171.4	
30~34歳	110	3.6	2.7	1.8	1.8	-	185.5	
35~39歳	131	3.1	0.8	2.3	-	3.8	164.9	
40~44歳	122	3.3	1.6	2.5	2.5	2.5	162.3	
45歳以上	92	3.3	-	3.3	-	2.2	153.3	
女性 16~19歳	49	-	4.1	2.0	4.1	4.1	195.9	
20~24歳	88	1.1	1.1	1.1	1.1	2.3	213.6	
25~29歳	100	3.0	1.0	8.0	1.0	-	213.0	
30~34歳	138	2.2	-	9.4	-	1.4	192.0	
35~39歳	143	1.4	0.7	5.6	-	7.0	177.6	
40~44歳	162	3.7	-	10.5	0.6	3.1	188.9	
45歳以上	141	-	-	7.1	-	2.8	185.1	

第4章 自分自身の性行動

1 これまでのセックス（性交渉）経験の有無

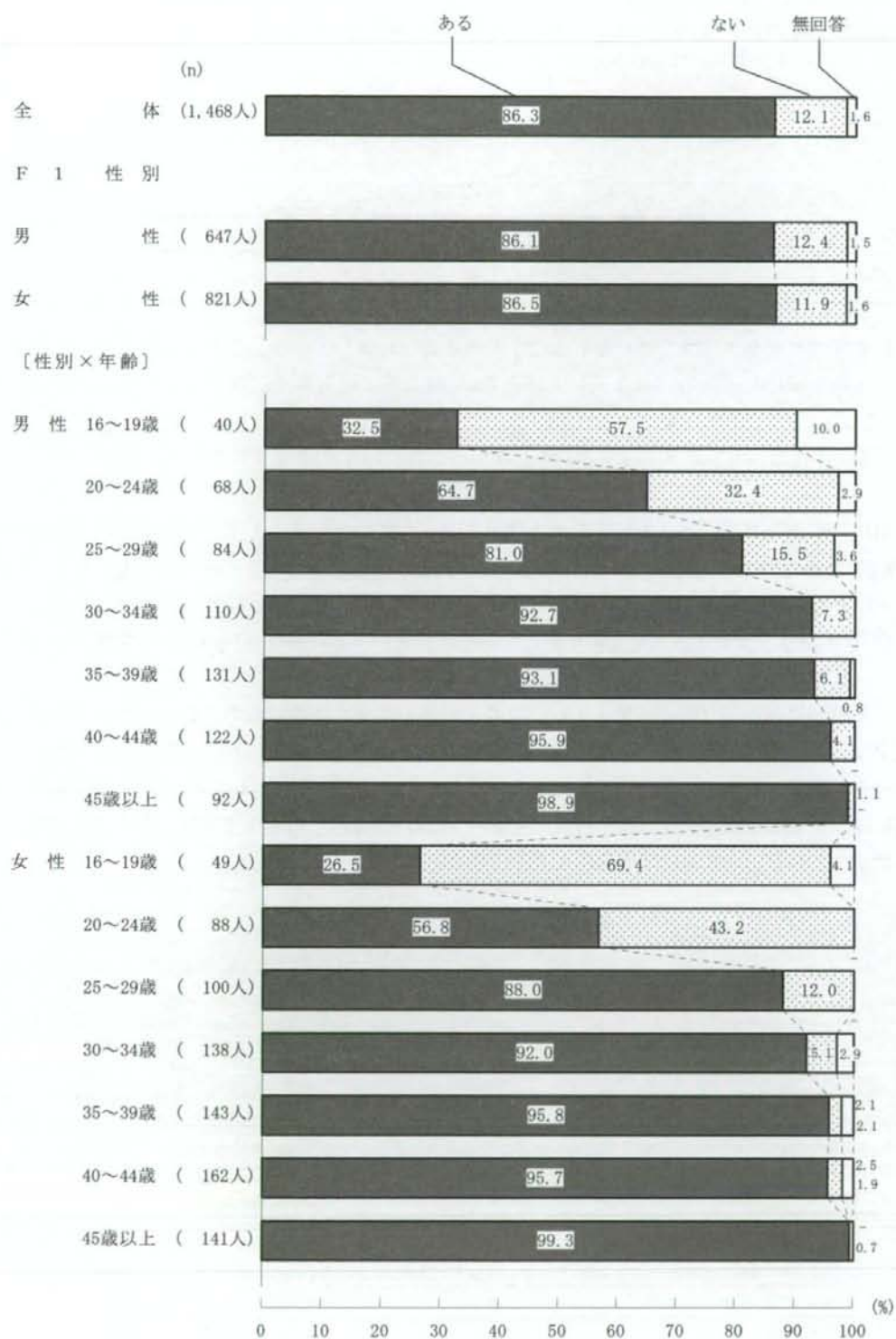


これまでのセックス（性交渉）経験を聞いたところ、セックスをしたことが「ある」という者は86.3%である。一方、「ない」という者は12.1%である。

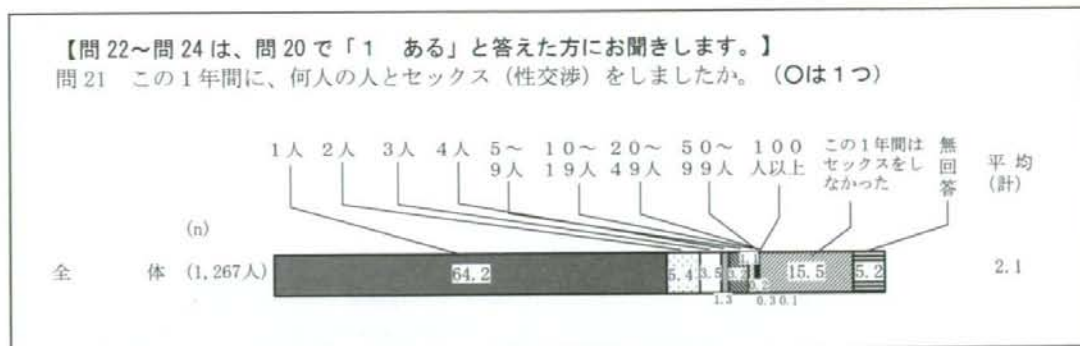
性別にみると（図4-1-1）、男女で大きな差はみられない。

性・年齢別にみると（図4-1-1）、セックスをしたことが「ある」は、年齢が高くなるほど多くなり、男女とも30歳以上の年齢層では9割を上回っている。なお、24歳以下の年齢層では「ある」は、女性より男性の方が多くなっている。

図4-1-1 これまでのセックス（性交渉）経験の有無（性別、性・年齢別）



2 この1年間にセックス（性交渉）をした相手の人数



これまでにセックス（性交渉）をしたことのある者（1,267人）に、この1年間にセックスをした相手の人数を聞いたところ、「1人」という者が64.2%で最も多く、次いで「2人」と答えた者が5.4%である。

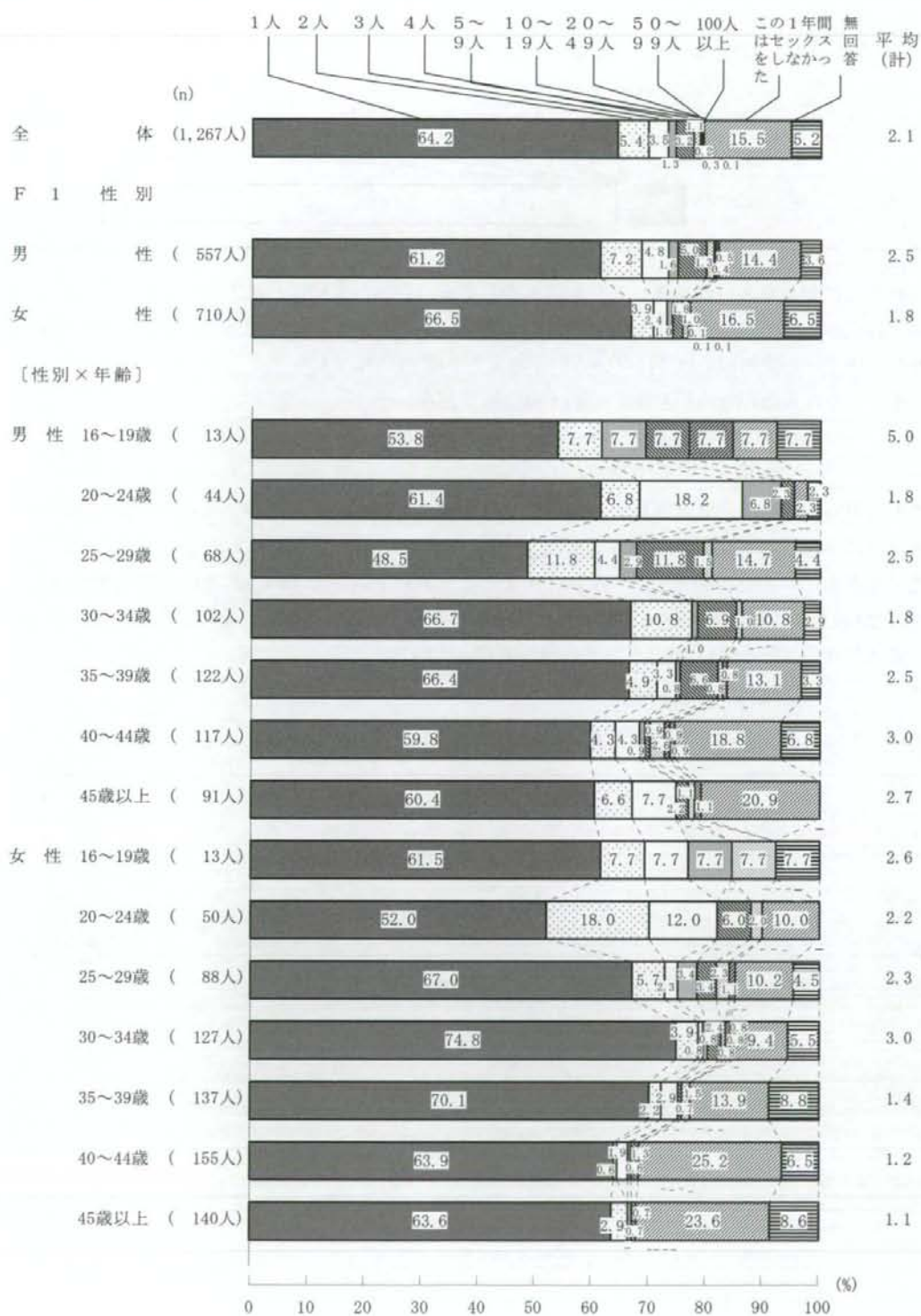
「この1年間は、セックス（性交渉）をしなかった」という者は15.5%である。

性別にみると（図4-2-1）、この1年間にセックスしたのは「1人」とであるという者は女性では66.5%であるのに対して、男性では61.2%で、女性の方が約5ポイント多い。一方、セックス経験が2人以上の人数を答えた者は、「100人以上」を除いて女性より男性の方が多くなっている。

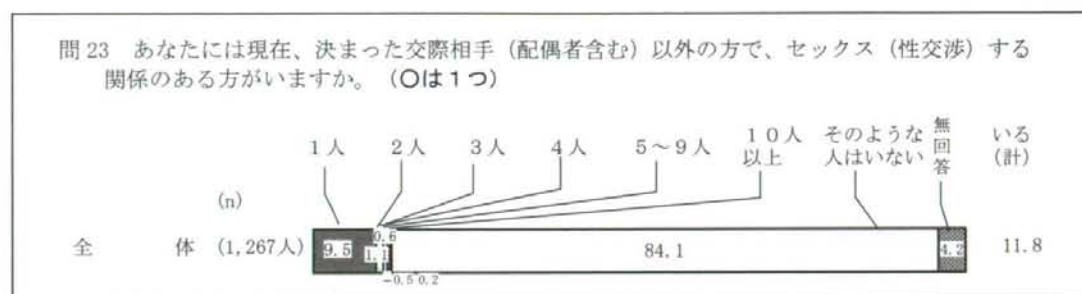
「この1年間は、セックス（性交渉）をしなかった」という者は男性（14.4%）と女性（16.5%）で差はみられない。

性・年齢別にみると（図4-2-1）、この1年間のセックスの相手が「2人」という者は、該当数は少ないが男性の25～34歳と女性の20～24歳の年齢層で統計的にみて多くなっている。一方、「この1年間は、セックス（性交渉）をしなかった」という者は男女ともに30歳以上の年齢層で年齢が高いほど多くなる傾向がみられ、特に、女性の40歳以上では「この1年間は、セックス（性交渉）をしなかった」という者がほぼ4人に1人を占めている。

図4-2-1 この1年間にセックス（性交渉）をした相手の人数（性別、性・年齢別）



3 決まった交際相手以外でセックス（性交渉）する人数



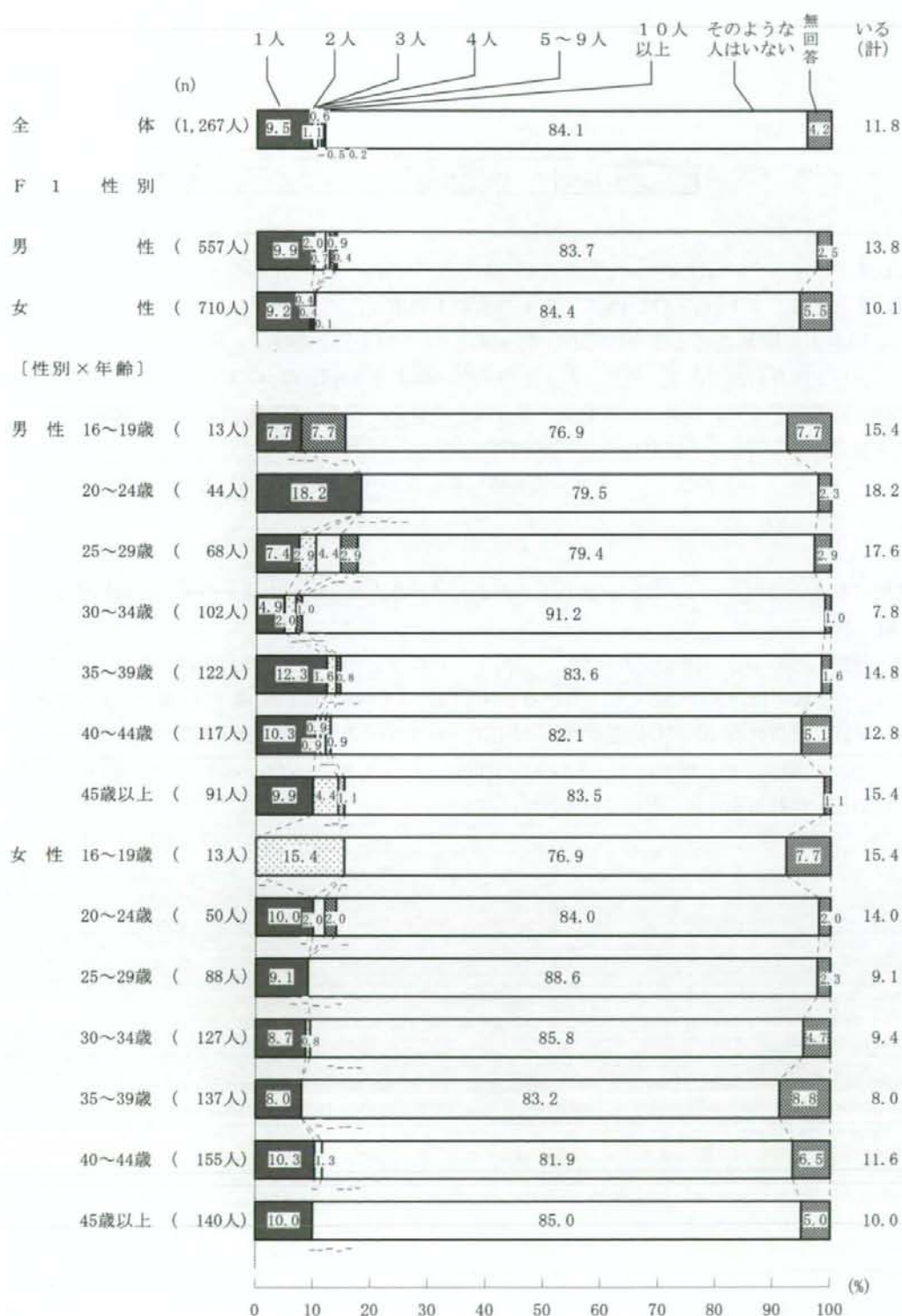
これまでにセックス（性交渉）をしたことのある者（1,267人）に、決まった交際相手以外でセックス（性交渉）する人数を聞いたところ、「1人」いると答えた者は9.5%で、2人以上いる者も合わせた、決まった交際相手以外に『いる』と答えた者は11.8%である。

「そのような人はいない」と答えた者は84.1%である。

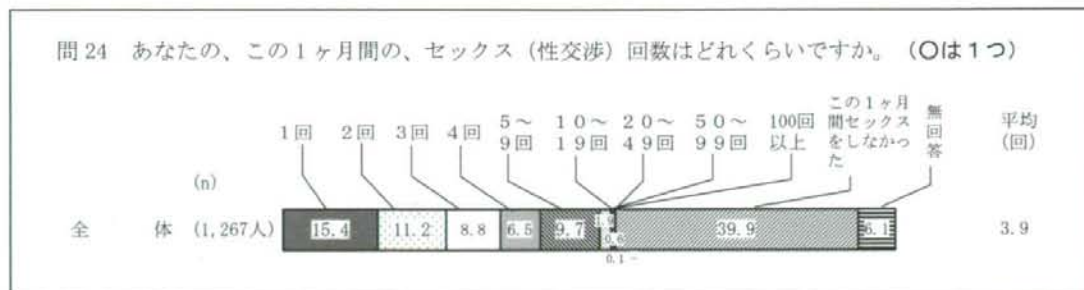
性別にみると（図4-3-1）、決まった交際相手以外に『いる』と答えた者は女性（10.1%）より男性（13.8%）にやや多い。

性・年齢別にみると（図4-3-1）、決まった交際相手以外に『いる』者は、該当数は少ないが男性の20歳代で、他の性・年齢層に比べてやや多くなっている。一方、「そのような人はいない」という者は男性の30～34歳（91.2%）では9割を超えている。

図4-3-1 決まった交際相手以外でセックス（性交渉）する人数（性別、性・年齢別）



4 この1ヶ月間のセックス（性交渉）回数



これまでにセックス（性交渉）をしたことのある者（1,267人）に、この1ヶ月間のセックス回数を聞いたところ、「1回」（15.4%）と答えた者が1割半ば、「2回」（11.2%）と答えた者が1割強、3回以上の回数の答えはそれぞれ1割未満となっている。この1ヶ月に『セックスをした』（54.0%）者は5割強である。また、およその平均回数は3.9回となっている（およその平均回数の算出は、回答が「1回」のように実数値の場合はその値を、「5～9回」のように実数値でない場合は中間値である7回という値を与えて平均を算出した）。

なお、「この1ヶ月間は、セックス（性交渉）をしなかった」（39.9%）という者は4割を占めている。

性別にみると（図4-4-1）、統計上の大きな差はみられない。およその平均回数は男女ともに3.9回である。

性・年齢別にみると（図4-4-1）、この1ヶ月に『セックスをした』者は該当数は少ないが男性の20～24歳（72.8%）で多くなっている。「2回」は男性の30～39歳と45歳以上の年齢層で、「5～9回」は男性の20～24歳と女性の20歳代で統計的にみて、他の性・年齢層より多くなっている。一方、40歳以上の女性では、「この1ヶ月間は、セックスをしなかった」という者がほぼ半数おり、他の性・年齢層より多くなっている。

図4-4-1 この1ヶ月間のセックス（性交渉）回数（性別、性・年齢別）

